

英国の第 6 次カーボンバジェットーネットゼロへの経路

Vivian Scott

Senior Analyst, The Committee on Climate Change

Richard Millar

Senior Analyst, The Committee on Climate Change

■要旨

英国気候変動委員会は、排出削減と気候変動リスク適応に関する助言と監視を英国政府に対して行う国家機関である。2019 年に、委員会の助言により英国は 2050 年までのネットゼロ排出目標を法制化した。2020 年 12 月、委員会は法的拘束力を持つ 2033～2037 年中間目標として第 6 次カーボンバジェットの設定に関する助言を発表した。ここでは、英国国内の温室効果ガス排出を 1990 年比で 78%低減することを提言している。本プレゼンテーションでは、気候変動委員会及び英国の気候ガバナンスフレームワークにおける委員会の役割を紹介する。さらに第 6 次カーボンバジェットにおける助言について、どのように策定されたか、またネットゼロへの移行のために英国の部門や国民に対して求める経路や変化を示しつつ詳しく述べる。

(RITE 仮訳)

■略歴／Biography

スコット博士

排出削減及び気候変動リスクへの適応に関する英国政府の公式独立諮問委員会である気候変動委員会における国際的な行動のシニアアナリストである。

彼は、エディンバラ大学から委員会に出向している。大学では気候変動緩和と低炭素エネルギーの主任研究員を務めており、ネットゼロ目標及びシナリオや負の排出技術、CCS など、気候及びエネルギーシステムにおける CO₂ の直接管理に関して科学と政策の観点からの研究を行っている。

(RITE 仮訳)

Vivian is the Senior Analyst for international action at the Climate Change Committee, the official independent advisory body to the UK government on reducing emissions and adapting to the risks of climate change.

He is on loan to the Committee from the University of Edinburgh where he is a senior researcher in climate change mitigation and low carbon energy, working on the science and policy context of the direct management of carbon dioxide in the climate and energy system including net-zero targets and scenarios, negative emissions technologies and carbon capture and storage.

ミラー博士

排出削減及び気候変動リスクへの適応に関する英国政府の公式独立諮問委員会である気候変動委員会における気候科学のシニアアナリストである。

気候変動委員会に参加する前は博士研究員として気候科学と政策の研究を行っており、IPCC1.5°C特別報告書では第1章のチャプターサイエンティストや第2章と第3章、政策決定者向け要約の執筆協力者などを務めた。オックスフォード大学で大気物理学の博士号を取得。

(RITE 仮訳)

Richard is the Senior Analyst for Climate Science at the Climate Change Committee, the official independent advisory body to the UK government on reducing emissions and adapting to the risks of climate change.

Prior to joining the Committee on Climate Change, Richard worked at the interface of climate science and policy as a post-doc researcher, including on the recent IPCC Special Report on 1.5°C as a chapter scientist for Chapter 1 and a contributing author to Chapters 2, 3 and the Summary for Policymakers. Richard holds a DPhil from the University of Oxford in atmospheric physics.